令和７年１１月１０日
体育・保健体育、健康、安全ＷＧ
資料１－３

高等学校の現場から感じていること

山形県立南陽高等学校　佐藤　若

１，高等学校の指導内容について

（１）高等学校の目標：豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成

・４，４，４の系統性（卒業後も運動やスポーツに多様な形で関わることができるようにする時期）

・スポーツの価値を認識し，する，みる，支える，知る　多様な関わり方へ

（２）現状と課題

【知識及び技能】生徒の技能のレベルは全体的に高くなく，また技能差が大きい

・生きて働く確かな知識（概念知，具体知，方法知などの概念について教員の理解）

・学校の状況に応じて選択制授業における領域や種目選択は行われているが，施設や用具等の環境づくりに対する課題　・・・「好きを育み得意を伸ばす」（論点整理）

【思考力，判断力，表現力等】

・運動に関する課題解決は行われているが，その他（態度，健康安全，生涯スポーツ）が少ない

【学びに向かう力，人間性等（公正，協力．責任，参画，共生，健康・安全）】

・チームの協力や声かけ，対戦相手へのリスペクト，良いプレイへの賞賛など，生徒の態度が変容

・全員がゲームを楽しむための配慮を生徒に考えさせルールを工夫したことにより，「共生」についての理解につながるなど，スポーツを通して共生社会を作る重要な指導内容

２，「学びに向かう力、人間性等」（公正，協力，責任，参画，共生，健康・安全）の再整理について

（１）「知識及び技能」へ「スキル」として整理（専門学科体育科の指導内容を参考に）

（２）評価と評定

・「公正，協力，責任，参画，共生，健康・安全」は性質に着目して資質・能力の中で整理

・「愛好的態度」は個人内評価に適している（積極的な価値づけに期待）

専門学科 体育の指導内容（スポーツⅡ）

技能

・スポーツⅡの多様な楽しさや喜びを深く味わうための技能を身に付けること。

・他者と学び合う場面で，基本的な技の見本や改善のポイントを身体及び言葉などで他者に表現できること。

・危機回避の際の行動及び事故発生時の応急手当ができること。

・体力や技能の程度，性別や目的，障害の有無など様々な違いを超えて，スポーツを楽しむために調整し合意したマナーを実践できること。

・競技会などの目的に応じた企画や運営ができること。

保健体育科 科目「体育」の指導内容

技能

思考力，判断力，表現力等

学びに向かう力，人間性等
（健康・安全）

学びに向かう力，人間性等
（共生，合意形成等）

知識（競技会の企画・運営）

高等学校学習指導要領解説(平成30年度告示）より